

わが家の防災メモ・災害用伝言板

あらかじめ記入し、家族みんながわかる場所に置いておきましょう。

	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
緊急連絡先				

	名前	電話番号	生年月日	血液型	持病・アレルギー・常備薬など
緊急時用 家族データ					

	名前	電話番号	名前	電話番号	名前	電話番号
親戚・知人の 連絡先						

自然災害時の 避難所・ 集合場所	避難所	家族が離ればなれになったときの集合場所

連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。
 なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

(一社)電気通信事業者協会
《災害時の電話の利用方法》



NTT西日本
《災害用伝言ダイヤル171》



NTTドコモ
《災害用伝言板》



au
《災害用伝言板サービス》



SoftBank
《災害用伝言板》



緊急連絡先

緊急 ダイヤル	長与町災害対策本部 095-801-5782 地域安全課消防防災係 (直通)
	事件・事故
	警察 110 番
	火災・救助・救急
	消防 119 番
	海上の事件・事故
急病・ 救急	海上保安庁 118 番
	救急安心センター #7119 (ダイヤル回線 ☎ 095-801-1217) 急な病気や怪我で、救急車が必要か迷った時の相談 子ども医療電話相談
	#8000 (ダイヤル回線 ☎ 095-822-3308) 平日・土曜日 18 時～翌朝 8 時まで 日曜・祝日・年末年始 (12/29～1/3) は 24 時間対応 お子さまの急な病気やケガなどの相談

停電のときは
0120-426-305 (停電情報自動応答サービス)
九州電力送配電(株)長崎配電事業所
停電情報アプリのインストールは
こちら→

水道に関するご相談
095-801-5801
長与町水道局 上下水道課

火災情報確認
050-5530-9909 (通話料自己負担)
長崎市消防局管内で
発生している火災情報
LINE 通報システム
災害の被害に遭遇した時に町へ通報
できるシステム
使い方は1ページをご確認ください。

長与町



防災ハザードマップ



目次

防災情報の確認方法	1	土砂災害	17
避難情報	2	自主防災組織	18
避難所一覧	3	家庭での備え	19
ハザードマップ索引図	4	非常時持ち出し品の準備&チェック	20
ハザードマップ	5~14	町民の皆様へ	21
洪水	15	わが家の防災メモ・災害用伝言板	裏表紙
台風・高潮	16		

保存版
令和8年3月

お問い合わせ先は

長与町地域安全課(防災担当課)
TEL:095-883-1111





防災情報の確認方法を知っておきましょう

防災行政無線	①	フリーダイヤル	TEL: 0800-200-3312 (無料) 上記番号にお電話いただきますと、最新の町内放送の内容が確認できます。 フリーダイヤルとなりますので、電話料金は発生しません。	
	②	登録制メール	町内放送(防災行政無線)の内容がメールで配信されます。 次のURLもしくは、右記の二次元コードにアクセスし、ご登録をお願いします。 http://mobile.nagayo.jp/mail/mobile/	  登録方法 ①迷惑メール防止機能をご利用の場合は、「mobile@mobile.nagayo.jp」からのメールを受信できるように設定しておいてください。 ②「サービス始めてみる」を押し、空メールを送信。 ③メールが届いたら、記載されているURLにアクセス。 ④配信希望情報を選択後、「広域地域から選ぶ」を選択。 ⑤登録完了!
	③	SNS	 LINE 公式アカウント ナガヨ ミックン  X(旧: Twitter) 公式アカウント  Yahoo! 防災速報	
			公式LINEから防災気象情報など確認しやすくなっておりますので、ぜひご利用ください! 使い方 「リッチメニュー」→「防災」をタップ  <ul style="list-style-type: none"> ●災害情報確認 →防災気象情報や現在の気象情報を表示 ●各種ハザードマップ →長与町防災ハザードマップを表示 ●避難所情報 →開設中の避難所と、混雑具合を表示 ●通報システム →災害時等に異常が発生した場合に町に報告できるもの 災害時に何か異常を発見されましたら、通報をお願いします 	
	④	ホームページ	気象情報・防災情報の入手先一覧 1 気象情報 気象庁ホームページ  検索 2 防災情報(長崎県) 長崎県防災ポータル  検索 3 停電情報 九州電力送配電  検索 4 防災情報(長与町) 長与町防災サイト  検索 長与町公式スマホ用アプリ     Android用 iPhone用	
⑤	テレビ	大雨や台風が近づいてきたら、テレビを付けてみましょう。 リモコンの「dボタン」を押すと、最新の気象情報や避難情報、他市町の状況など、リアルタイムで情報を得ることができます。		

警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1}
~<警戒レベル4までに必ず避難!>~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難 ^{※2}
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。

Point1

警戒レベルや避難情報は必ずしも**レベルの低い方から順に発令されるとは限りません**。
 局地的集中豪雨のような突発的な異常気象の場合には、町からの避難情報が間に合わない場合もあります。
 これらの情報が発令されていなくても身の危険を感じる場合はご自身の判断で避難行動を始めてください。

Point2

避難行動が遅れ、災害が発生・切迫している状況で立退き避難が危険な場合には、命の危険が迫っているため、自宅の中で高い場所や崖などから離れた部屋で過ごすなど、直ちに身の安全を確保してください。

避難に関する3つの情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。
 3種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

レベル3 高齢者等避難 人的被害が発生するおそれがある状況。 	レベル4 避難指示 人的被害の発生する危険性が高まった状況。 	レベル5 緊急安全確保 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。 
<ul style="list-style-type: none"> ●避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は危険な場所から避難します。 ●通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●危険な場所から全員が避難となり住民は直ちに避難をおこなってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅の2階以上や、崖から離れた部屋に移動するなど、命を守るための最善の行動を取ります。 ●警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

避難所一覧



指定避難所

(※避難所は、随時更新される可能性があります。)

避難生活を送るための町が指定した公共施設です。

- 災害時、全ての指定避難所を開設するわけではなく、災害の規模や避難者数に応じて地域ごとに段階的に開設していきます。
- 下記の開設段階はあくまでも想定であり、災害の種別や施設の状況で変更する場合があります。実際の開設状況については、防災担当課にお尋ねいただくか、町ホームページをご確認ください。

最新の避難所情報はこちら!



開設段階	番号	指定避難所名	所在地	連絡先	開設段階	番号	指定避難所名	所在地	連絡先
第1段階	1	長与町役場	嬉里郷659-1	883-1111	第3段階	16	働く婦人の家	丸田郷351-2	883-1583
	2	長与町武道館	嬉里郷639	883-1111		17	老人福祉センター	嬉里郷431-1	883-7760
	3	ふれあいセンター	高田郷2005-3	855-8128		18	長与町民文化ホール	吉無田郷73-1	883-8731
	4	上長与地区公民館	平木場郷41-1	883-7711		19	上長与体育館	平木場郷41-1	883-7711
	5	多目的研修集会施設	岡郷95-2	887-0392		20	上長与児童館	三根郷52-30	887-2616
第2段階	6	長与南交流センター	吉無田郷1163-193	883-5120		21	海洋スポーツ交流館	斉藤郷841-5	883-1111
	7	長与小学校	嬉里郷659-2	883-2004		22	つどいの家	岡郷1475	883-1111
	8	高田小学校	高田郷2207	856-1709		23	潮井崎交流館	岡郷2541-1	883-3312
	9	洗切小学校	平木場郷151	883-2025		24	長崎県立大学シーボルト校体育館	まなび野1-1-1	813-5500
	10	長与北小学校	斉藤郷370	883-2522		25	長崎高等技術専門学校体育館	高田郷547-21	887-5671
	11	長与南小学校	高田郷1196-80	883-2959		26	長崎北陽台高等学校体育館	高田郷3672	883-6844
	12	長与中学校	丸田郷194	883-2009		27	グリーンパーク長与	斉藤郷1073	865-9386
	13	長与第二中学校	吉無田郷322	883-6259					
	14	高田中学校	高田郷1912-1	857-5220					
	15	長与町民体育館	岡郷614-4	887-2781					



指定緊急避難場所

切迫した災害の危険性から緊急的に避難するための町指定の一時避難場所です。

上記の指定避難所に加え、学校のグラウンドや公園などの広場を指定しています。詳細は町のホームページをご覧ください。



福祉避難所

障がいをお持ちの方など、指定避難所では生活が困難な方が避難生活を送るための避難所です。

長与町では下記の2か所と協定を結んでいます。

災害時、福祉避難所の開設が必要と判断した場合に、町から下記施設管理者へ開設を要請します。福祉避難所の利用につきましては、必ず町もしくは指定避難所の町職員にご連絡ください。ただし、緊急を要する場合は、下記施設へ直接お問い合わせいただくことも可能です。

番号	福祉避難所名	所在地	連絡先	番号	福祉避難所名	所在地	連絡先
1	社会福祉法人のぞみ会 のぞみの杜	吉無田郷1578	887-3333	2	社会福祉法人ながよ光彩会 特別養護老人ホームかがやき	本川内郷2-3	894-5555

ペット避難所

長与町ではペット避難所のルールは以下のように取り決めています。

ペットと同行避難する前に必ず役場へご連絡ください。長与町役場 地域安全課 (防災担当課) TEL:095-883-1111

- 同行ができる場所は2か所のみです。長与町役場 公用車庫棟、ふれあいセンター 玄関横倉庫
- 室内避難スペースに「同伴避難」することはできません。
- 必ずケージの中で生活させてください。
- 飼養管理に必要なエサや水は飼い主がご持参ください。



避難先は避難所だけではありません

避難は「難」を「避ける」ことです。安全な場所にいる人まで避難をする必要はありません。

避難する場合は指定された避難場所や安全な知人・友人宅に避難する「立ち退き避難」が基本ですが、今いる建物内で安全確保をする「在宅避難」も有効的です。

●「立ち退き避難」をするなら..

- ・指定された避難場所への立ち退き避難
- ・安全な親戚・知人宅への立ち退き避難
- ・安全なホテルや旅館への立ち退き避難

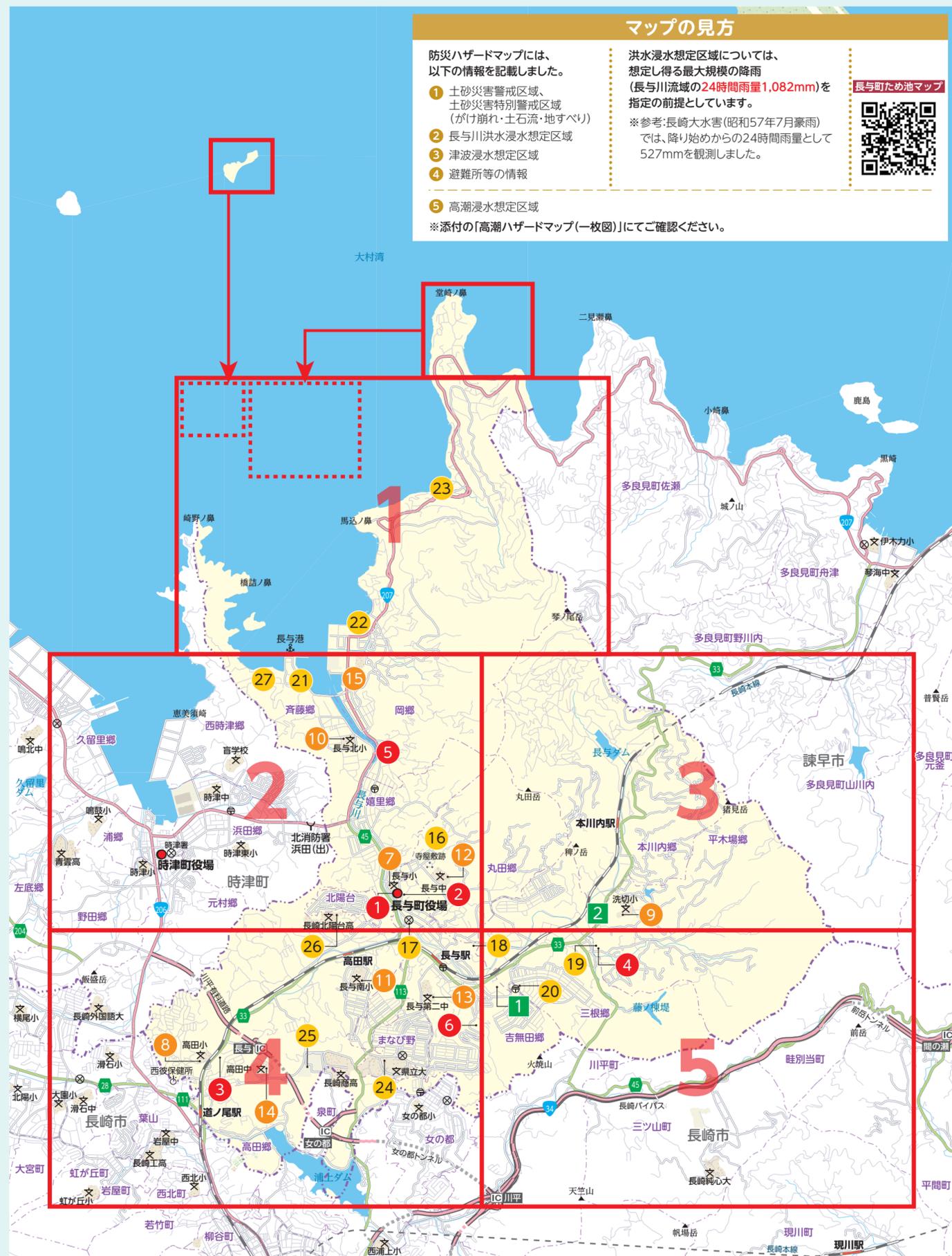
●「在宅避難」のすすめ

「在宅避難」は災害時、自宅に倒壊や焼損、浸水、流出等の危険性がない場合にそのまま自宅で生活を送る方法です。避難所は自宅避難生活を送れない場合に行く場所で、自宅が安全であれば無理に避難所に行く必要はありません。日ごろから飲料水や食料、生活必需品などを備蓄し、避難所に行かなくても済むような対策を心がけましょう。

注)土砂災害の危険がある区域は「立ち退き避難」が原則となります。

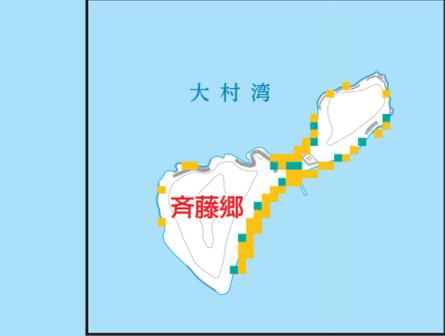
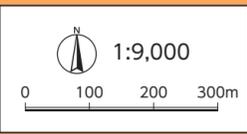


ハザードマップ索引図



凡例		指定避難所		福祉避難所		水位観測所		ライブカメラ		消防署		国道
		指定緊急避難場所		要配慮者利用施設一覧		雨量観測所		町役場		警察署・駐在所		県道

洪水浸水想定	浸水深区分	3m以上~		河川浸食 河川が浸食された場合に、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。 ※早期の立退き避難が必要です。	土砂災害の危険がある場所	急傾斜地	特別警戒区域	特別警戒区域	特別警戒区域	地すべり	警戒区域
		0.5m以上~3m未満									
		0.5m未満									



津波浸水想定	浸水深区分	1m以上~2m未満
		0.3m以上~1m未満
		0.3m未満



潮井崎公園

潮井崎交流館

要配慮者利用施設			
番号	名称	洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域
⑥	グループホーム みどりの岡		



つどいの家

ふれあい広場(多目的広場)

長与総合公園

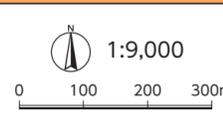
長与町消防団 第11分団格納庫

町営テニス広場

長与浄化センター

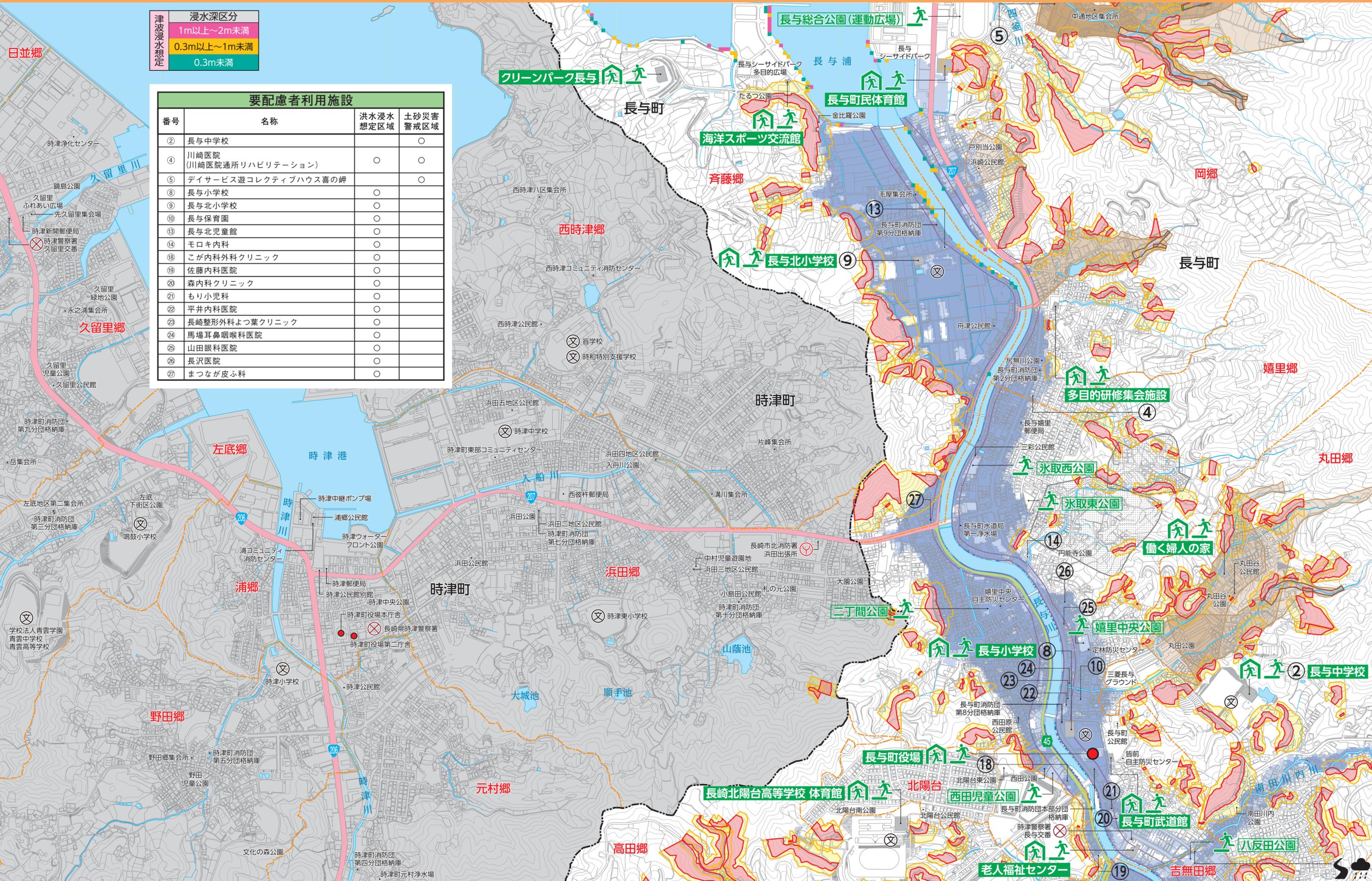
凡例		指定避難所		福祉避難所		水位観測所		ライブカメラ		消防署		国道
		指定緊急避難場所	①	要配慮者利用施設一覧		雨量観測所		町役場		警察署・駐在所		県道

洪水浸水想定	浸水深区分	河岸侵食	急傾斜地	土石流	地すべり
	3m以上~	河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。 ※早期の立退き避難が必要です。	特別警戒区域	特別警戒区域	警戒区域
	0.5m以上~3m未満		警戒区域	警戒区域	
	0.5m未満				



津波浸水想定	浸水深区分
	1m以上~2m未満
	0.3m以上~1m未満
	0.3m未満

要配慮者利用施設			
番号	名称	洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域
②	長与中学校		○
④	川崎医院 (川崎医院通所リハビリテーション)	○	○
⑤	デイサービス遊コレクティブハウス喜の岬		○
⑧	長与小学校	○	
⑨	長与北小学校	○	
⑩	長与保育園	○	
⑬	長与北児童館	○	
⑭	モロキ内科	○	
⑱	こが内科外科クリニック	○	
⑲	佐藤内科医院	○	
⑳	森内科クリニック	○	
㉑	もり小児科	○	
㉒	平井内科医院	○	
㉓	長崎整形外科よつ葉クリニック	○	
㉔	馬場耳鼻咽喉科医院	○	
㉕	山田眼科医院	○	
㉖	長沢医院	○	
㉗	まつなが皮ふ科	○	



凡		指定避難所		福祉避難所		水位観測所		ライブカメラ		消防署		国道
例		指定緊急避難場所	①	要配慮者利用施設一覧		雨量観測所		町役場		警察署・駐在所		県道

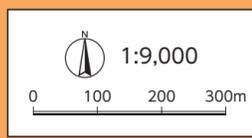
洪水浸水想定	浸水深区分	3m以上~
	0.5m以上~3m未満	
	0.5m未満	

河岸侵食
 河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。
 ※早期の立退き避難が必要です。

土砂災害の危険がある場所

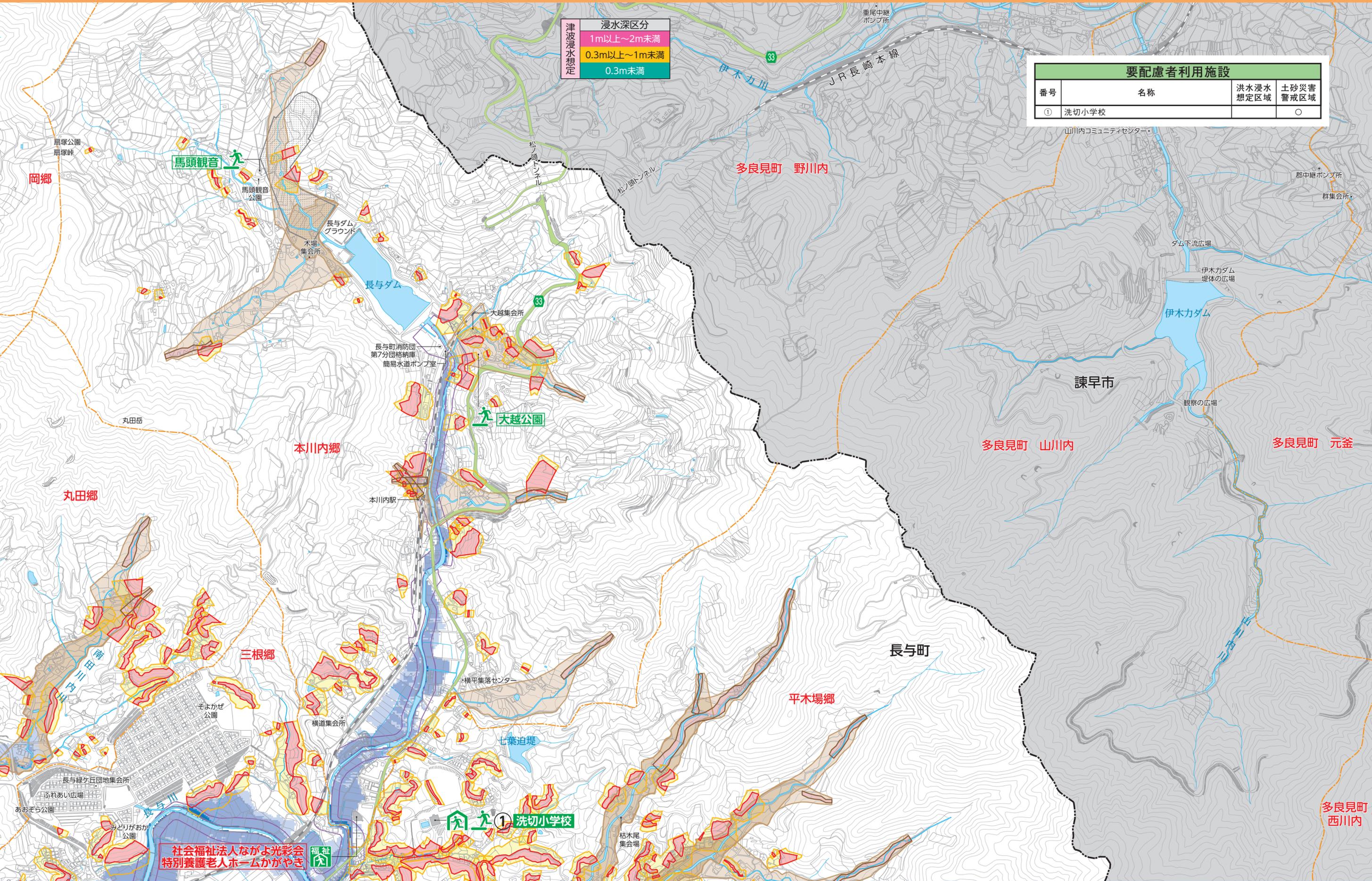
急傾斜地	特別警戒区域	特別警戒区域	特別警戒区域
警戒区域	警戒区域	警戒区域	警戒区域

地すべり	警戒区域
------	------



津波浸水想定	浸水深区分	1m以上~2m未満
	0.3m以上~1m未満	
	0.3m未満	

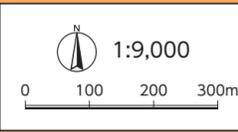
要配慮者利用施設			
番号	名称	洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域
①	洗切小学校		○



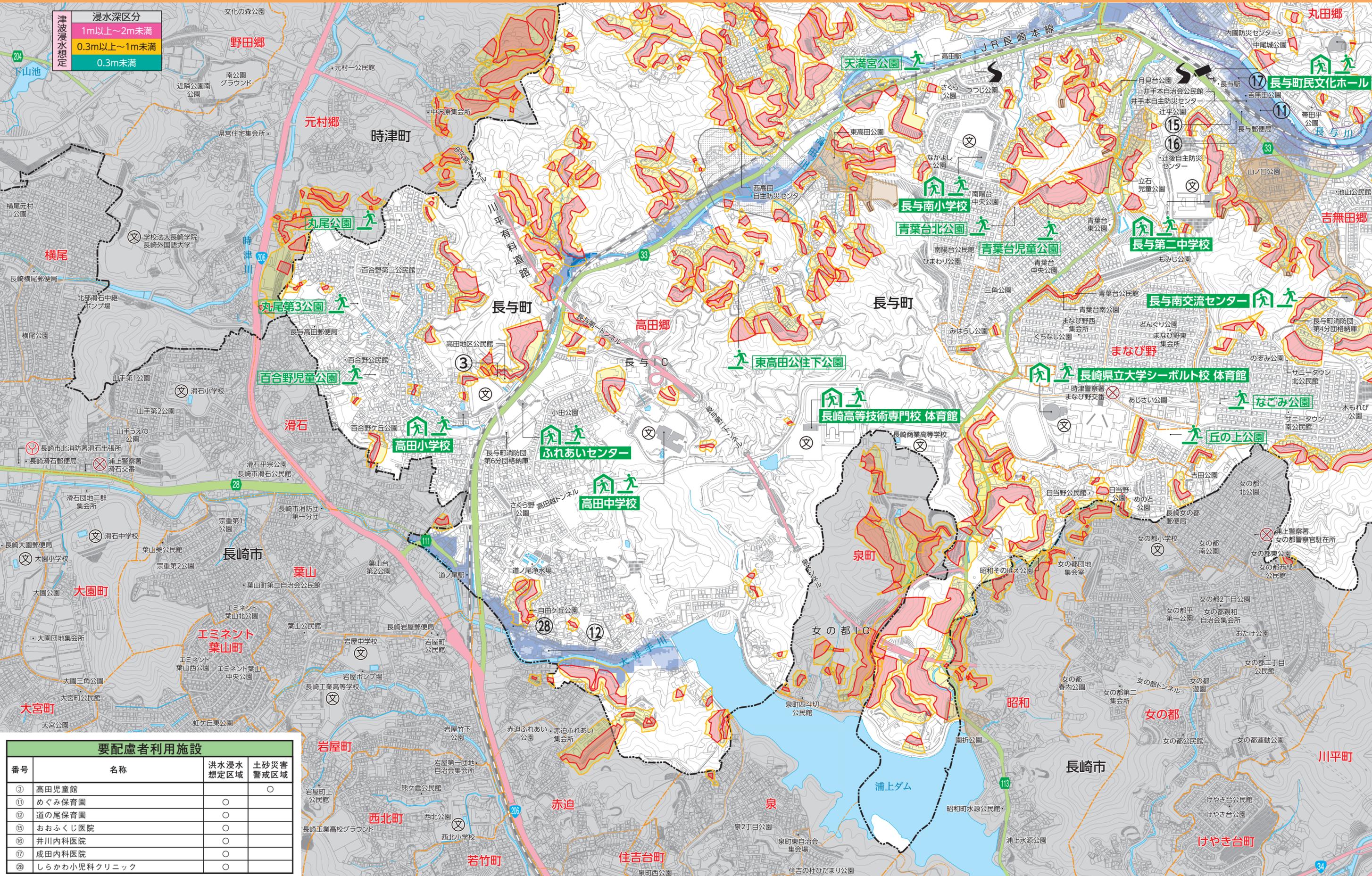
社会福祉法人ながよ光彩会
 特別養護老人ホームかがやき

凡		指定避難所		福祉避難所		水位観測所		ライブカメラ		消防署		国道
例		指定緊急避難場所		要配慮者利用施設一覧		雨量観測所		町役場		警察署・駐在所		県道

洪水浸水想定	浸水深区分	河岸侵食	急傾斜地	土石流	地すべり
	3m以上~	河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。 ※早期の立退き避難が必要です。	特別警戒区域	特別警戒区域	警戒区域
	0.5m以上~3m未満		警戒区域	警戒区域	
	0.5m未満				



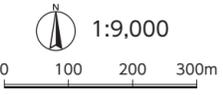
津波浸水想定	浸水深区分
	1m以上~2m未満
	0.3m以上~1m未満
	0.3m未満



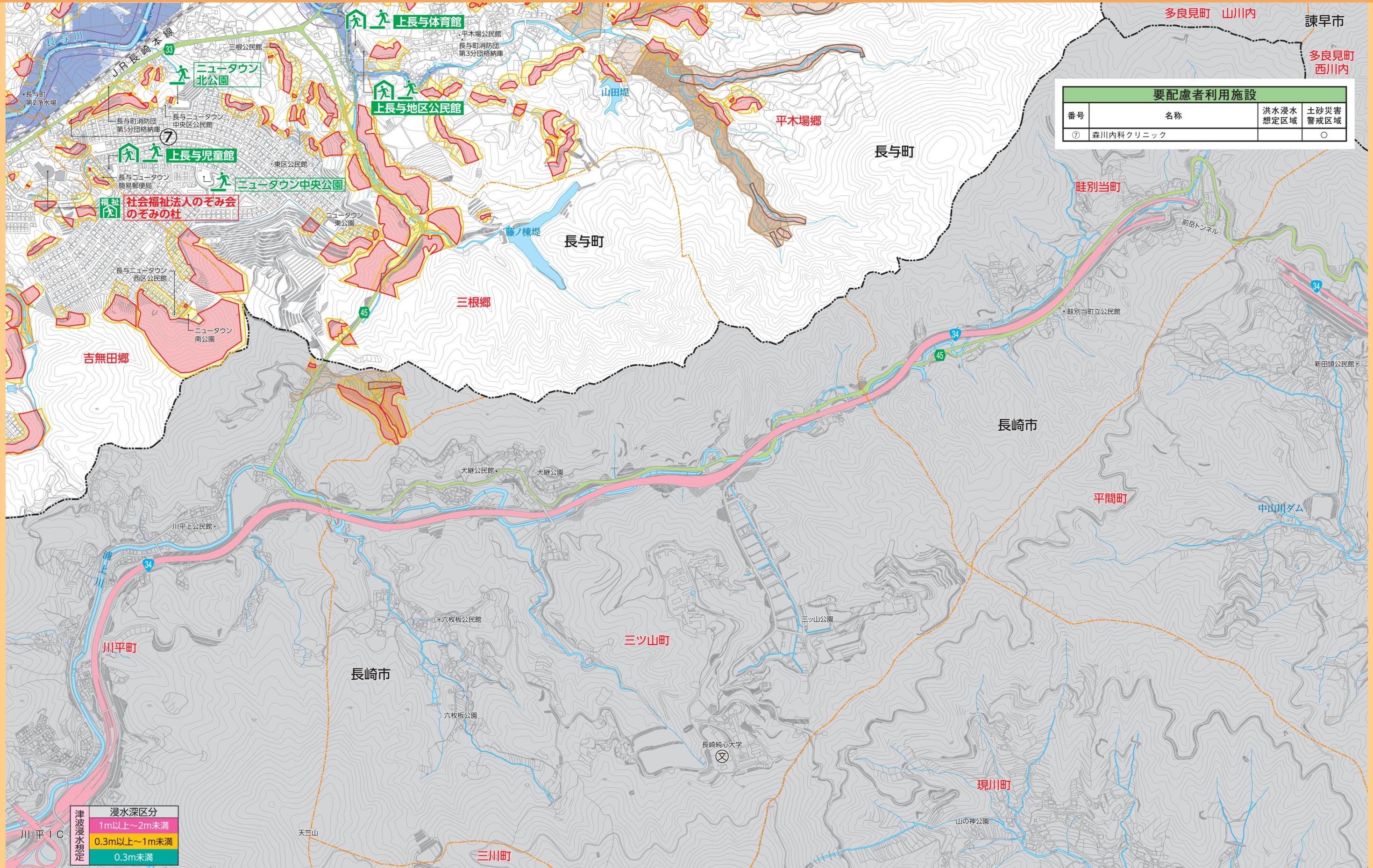
要配慮者利用施設			
番号	名称	洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域
③	高田児童館	○	○
⑪	めぐみ保育園	○	
⑫	道の尾保育園	○	
⑮	おおふくじ医院	○	
⑯	井川内科医院	○	
⑰	成田内科医院	○	
⑳	しらかわ小児科クリニック	○	

凡例		指定避難所		福祉避難所		水位観測所		ライブカメラ		消防署		国道
		指定緊急避難場所		要配慮者利用施設一覧		雨量観測所		町役場		警察署・駐在所		県道

洪水浸水想定	浸水深区分	3m以上~	河岸侵食	急傾斜地	土石流	地すべり
		0.5m以上~3m未満	河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。 ※早期の立退き避難が必要です。	特別警戒区域	特別警戒区域	警戒区域
		0.5m未満		警戒区域	警戒区域	



要配慮者利用施設			
番号	名称	洪水浸水想定区域	土砂災害警戒区域
⑦	森川内科クリニック		○



津波浸水想定	浸水深区分	1m以上~2m未満
		0.3m以上~1m未満
		0.3m未満

強い雨が広範囲に、長時間続くときに、洪水災害が発生する危険性が高まります。発生メカニズムを知り、堤防決壊の前兆に注意しましょう。

洪水の基礎知識

洪水

洪水とは大雨によって、川の水の量がふだんより、いちじるしく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに細い川しか流れていませんが、それがふだんの姿です。

ところが川幅いっぱいになると水がおしよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。



はん濫

はん濫とは、雨などによって、街や農地などに水があふれることで、川から水があふれることを「外水はん濫」といいます。川から水があふれたのではなく、街や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水はん濫」といいます。



右記のような前触れに注意して、危険を感じたら速やかに避難しましょう。

- 堤防の川側が崩れ始めたとき
- 水かさが増し、堤防に亀裂が生じたとき
- 堤防の側面から水が漏れ出したとき
- 増水が早く、水が堤防を越えそうとき
- 水が激流となって堤防の土が削り取られたり、護岸が壊れ始めたとき
- 堤防近くの地盤から水が噴き出すとき

長崎県の河川の水位情報がご覧になれます。
長崎県河川砂防情報システム
(河川水位・ダム情報・雨量・土砂災害情報)



河岸の侵食が発生するおそれのある区域や家屋の最上階が水没するおそれのある区域は、早期の立退き避難が必要です。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

やや強い雨 1時間雨量:10~20mm	強い雨 1時間雨量:20~30mm	激しい雨 1時間雨量:30~50mm	非常に激しい雨 1時間雨量:50~80mm	猛烈な雨 1時間雨量:80mm以上
ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。地面一面に水たまりができる。	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。地面一面に水たまりができる。	バケツをひっくり返したように降る。傘をさしてもぬれる。道路が川のようになる。	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。傘は全く役に立たなくなる。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。傘は全く役に立たなくなる。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

集中豪雨・線状降水帯

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。線状降水帯は、発達した雨雲が、列のように連なって、同じ場所に停滞し長時間大雨をもたらします。これらの発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時の持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。



台風接近時は、強い雨風に加え、高潮による浸水にも注意が必要です。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10m/秒以上~15m/秒未満	15m/秒以上~20m/秒未満	20m/秒以上~25m/秒未満	25m/秒以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていようと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。何かにつかまっていようと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

(平均風速:m/秒)

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上~800km未満	強い	33m/秒以上~44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上



高潮

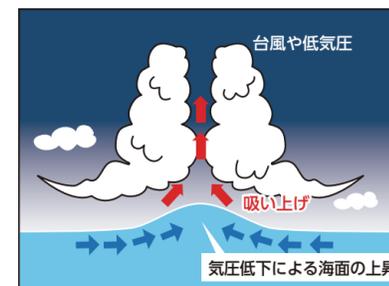
高潮は増水の速度が速く、満潮時刻の前後数時間は、潮位が短時間のうちに異常に上昇することがあります。台風が接近・上陸している時は十分に注意しましょう。

高潮が発生する仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により、海面が異常に高くなる現象です。高潮が発生するとその高い潮位と波浪・強風により、海水が堤防を越える可能性が高くなります。また、高潮が発生している海域に流れ込む河川があれば、高い潮位や波浪により河川の流が阻害されます。そのため、川沿いでははん濫が発生し、海岸から離れた内陸部にまで被害を及ぼすこともあります。

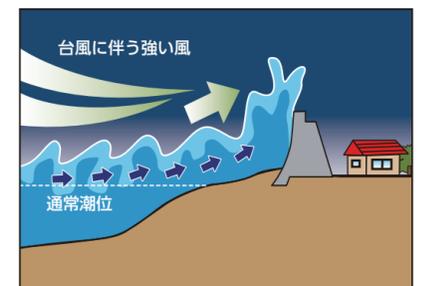
吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。気圧が1hPa低下すると海面は1cm上昇します。例えば、950hPaの台風が接近すると、1000hPaだった時より50cm海面が上昇します。



吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。吹き寄せ効果は風速や海岸の状況により大きく異なり、V字型の湾の奥ほど高くなります。

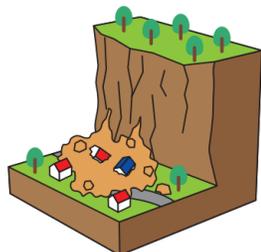




土砂災害の前触れに注意し、気がついた場合には速やかに避難しましょう。

土砂災害の種類

急傾斜地崩壊 (がけ崩れ)



がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分で斜面が突然崩れ落ちます。瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。また、地震が原因で起こることもあります。

予兆現象

- がけから小石がぱらぱら落ちてくる



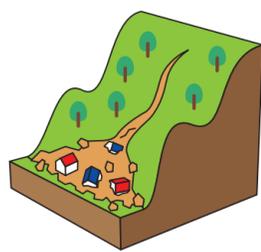
- がけから水が湧き出る



- がけに割れ目が見える



土石流



土石流は、谷筋で起きます。大量の土・石・砂等が集中豪雨など大量の水と混じり合って流れてくるので、速度が速く大きな破壊力を持っています。

予兆現象

- 急に川の水がにごり流木が混ざる



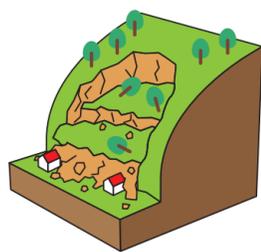
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



- 山鳴りがする



地すべり



地すべりは、粘土などの滑りやすい地盤が一度に広い範囲で動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると広い範囲で道路や建物に被害をもたらします。

予兆現象

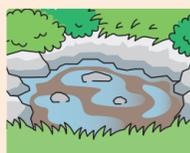
- 地面にひび割れができる



- 斜面から水が噴き出す



- 沢や井戸の水がにごる



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について

県では、土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」に、さらにそのなかでも建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」に指定しています。

住まいがある土地が警戒区域に入っていないかハザードマップで確認しておき、家が当該区域にある場合は早めに避難するようにしてください。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)……土石流・がけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)……土石流・がけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域。



多くの人が「避難をする」ということを決断し、避難行動を起こすことができていません。隣近所で声掛けをし、共に避難をするコミュニティ防災の体制を作りましょう。皆さんで協力して家族の命を、そして地域の命を、荒ぶる自然の脅威から守りましょう。



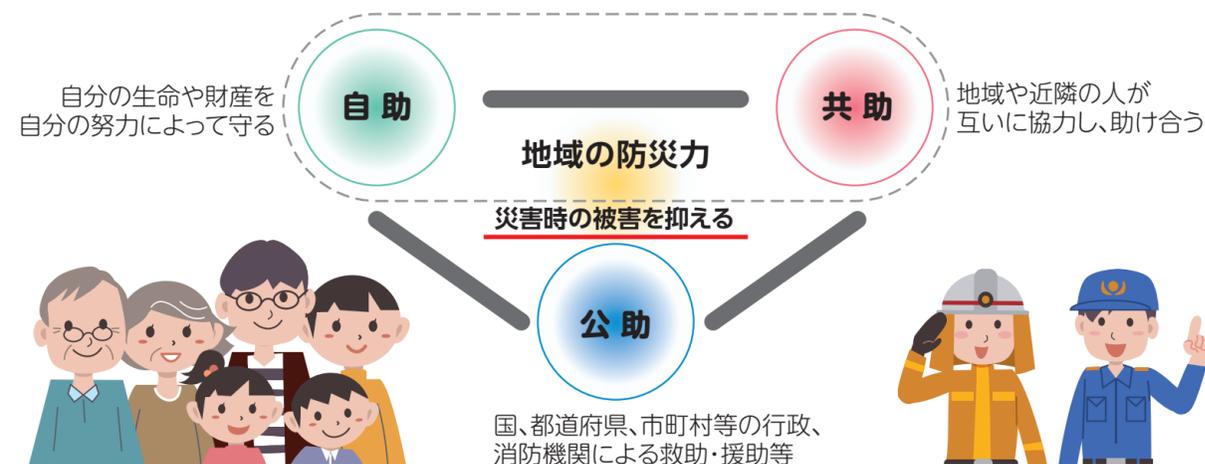
防災訓練に参加しよう!

地域の防災力

自助・共助・公助の連携により災害による被害を軽減することができます。

ひとたび大規模な災害が発生したときには、行政機関が行う活動(公助)は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える(自助)とともに、地域での助け合い(共助)による地域の防災力が重要となります。

災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため、「自主防災組織」活動を通じて、共助の強化、地域の防災力の強化に向けた取り組みを始めてみませんか?



1. 自主防災組織とは?

- 『自分たちの地域は自分たちで守る』という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織のことです。
- 平常時には、『災害に強いまち(地域)』作りを目指し、地域防災に関する活動を展開します。
※知識の習得・普及啓発・地域の把握(ハザードマップ)・防災訓練など
- 災害発生時には、地域住民の命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します。
※情報の収集伝達・避難(誘導)、消火、救出、避難所運営活動など

2. なぜ、自主防災組織が必要なの?

- 大規模な災害が発生した場合、行政機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。
このような時、地域の皆さんが一緒になって協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図ることができます。また、活動を迅速に進めるためには、『お互いに顔の見える関係』の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。
より効率よく、さまざまな活動をするためにも事前の準備(=体制づくり)が重要です。

- 平常時と災害時で活動内容は概ね次のような役割になります(青枠:平常時、赤枠:災害時)

情報の収集・伝達	初期消火活動	避難誘導活動	救出活動	給食・給水活動
<ul style="list-style-type: none"> ● 住民に対しての連絡体制、手段の検討 ● 情報収集・伝達訓練の実施 ● 防災知識の普及・啓発 ● 公的防災機関との連携確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期消火訓練の実施 ● 消火用水の確保、確認 ● 出火防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前に避難路、避難場所を把握 ● 避難誘導訓練の実施 ● 避難路の安全点検 ※危険箇所(がけ、ブロック塀)などの確認等 ● 避難行動要支援者の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応急手当、衛生知識の普及 ● 救命講習への参加 ● 応急医薬品、救助資機材の確保・点検 ● 技能、ノウハウを持った住民の把握 ● 救助用資機材の確保・点検 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食料、飲料水の個人備蓄について普及啓発 ● 炊き出し訓練の実施 ● 炊き出し用資機材の確保・点検
<ul style="list-style-type: none"> ● 災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達 ● 地域内の被害情報を収集し、自主防災組織本部へ報告 ● 混乱回避、出火防止等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期消火活動 延焼拡大を防ぐのが基本です ので無理はしないこと!! ● 情報担当と連携して出火防止等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報担当と連携して避難の呼びかけ ● 安全な経路を選択して避難誘導 ● 避難行動要支援者の避難支援 ● 避難地での安否確認 ● 安否確認による救出救護担当へ情報伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難誘導担当と連携して速やかな救出 ※救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意してください ● 負傷者の搬送、応急手当の救護 ● 避難所・救護所での救護活動へ協力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食料や水、救援物資等の受入、配布 ● 必要に応じて炊き出し

家庭での備え

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。(その際、「非常時持ち出し品の準備&チェック」のページを活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう)

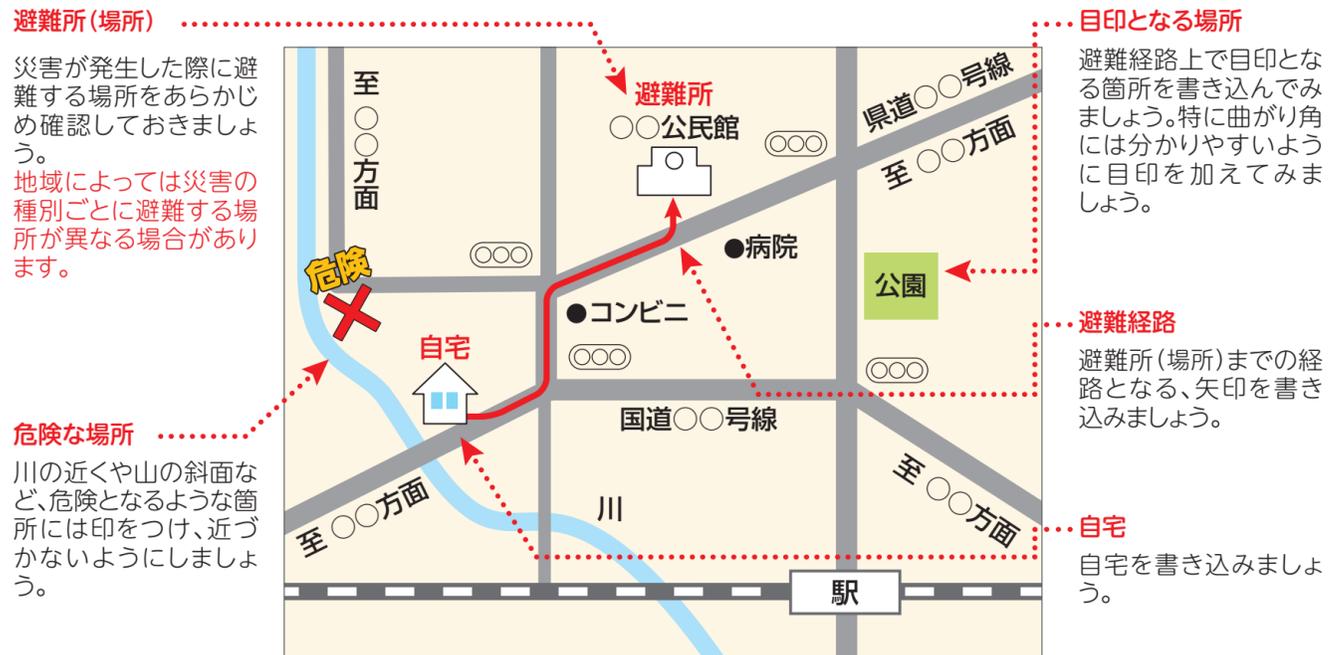
家族で話し合っておきたい項目

- あなたや家族が住んでいる場所や、日中過ごしている場所の災害危険度(リスク)を把握(理解)する
- 安全な避難経路、避難場所、避難所はどこにあるのか
- 家族間の連絡方法と、一旦避難し、災害がおさまった後に出会う場所はどこにするのか
- 家の中の安全対策はどうか
- 救急医薬品や消火器などを準備しているか
- 避難するとき、誰が何を持ち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
- 乳幼児や高齢者の面倒は誰がみるのか
- 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
- 地域の防災活動に参加しているか
- 防災訓練、避難訓練等



家庭のオリジナルマップの作成

家族で話し合った内容なども踏まえ、自宅から避難所(場所)までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、共有しておきましょう。



非常時持ち出し品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。日頃から準備できているか、チェックしましょう。

非常時持ち出し品 (例)

それぞれのご家庭の状況に応じて必要なものを記入するなどして、活用してください。

非常食品等

火を通さなくて食べられるもの、食器など



<input type="checkbox"/> 非常用食品(3日分)	<input type="checkbox"/> 紙皿
<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター(3日分)	<input type="checkbox"/> 紙コップ
<input type="checkbox"/> 割りばし	<input type="checkbox"/> 水筒
<input type="checkbox"/> スプーン	<input type="checkbox"/> 栓抜き
<input type="checkbox"/> フォーク	<input type="checkbox"/>

貴重品



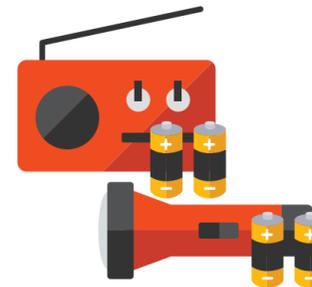
<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 預金通帳
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 免許証
<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 権利証書
<input type="checkbox"/> 緊急連絡先一覧	<input type="checkbox"/> マイナンバーカード
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

救急医療品



<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> ばんそうこう
<input type="checkbox"/> きず薬	<input type="checkbox"/> 包帯
<input type="checkbox"/> 風邪薬	<input type="checkbox"/> 胃腸薬
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

電化製品



<input type="checkbox"/> ラジオ(電池多めに用意)
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(電池多めに用意)(できれば一人ひとつ)
<input type="checkbox"/> 携帯電話
<input type="checkbox"/>

その他



<input type="checkbox"/> 衣類(下着・上着など)	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 粉ミルク	<input type="checkbox"/> ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)	<input type="checkbox"/> ホイッスル
<input type="checkbox"/> 離乳食	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> カッパ	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> ライター	<input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ(本書)	<input type="checkbox"/>

ローリングストックをはじめよう!

ローリングストックとは、使いながら備蓄する事

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、日常で使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食材を家に備蓄しておく方法を「ローリングストック」と言います。日常の食事で消費しながら備蓄するのがポイントです。備蓄品の鮮度を保ち、いざというときにも日常の食事に近い食生活を送ることができます。



防災ハザードマップの改訂について

このたび、長与町では、町民の皆様には洪水や土砂災害等に関する最新の情報を提供し、災害に対する事前の備えに役立てていただくことを目的として、「長与町防災ハザードマップ」を改訂いたしました。

今回の改訂内容としましては、長崎県より新たに指定された「高田川」、「南田川内川」、「大井手川」に係る洪水浸水想定区域および「大村湾沿岸」に係る高潮浸水想定区域を追加し、平時からの災害に対する知識や備えなどの情報欄をリニューアルいたしました。

昭和57年7月23日の長崎大水害では、本町において、1時間最大雨量(19時～20時)187mmと、国内観測史上第1位の驚異的降水量を記録し、町内全域で甚大な被害が発生しました。

さらに近年は、地球温暖化の影響を受けて大型化する台風や線状降水帯による局地的豪雨が全国各地で多発しており、今後も災害の頻発化・激甚化が避けられない状況にあります。

町民の皆様には、いざというときに備え、身の回りの災害危険箇所、避難所および避難経路をご確認いただくとともに、本冊子を日頃の防災対策にご活用いただきますようお願いいたします。

防災ハザードマップ(WEB版)は、
防災サイトでいつでも確認できます →



▲防災ハザードマップ(WEB版)

発行:長与町 制作・著作:株式会社ゼンリン長崎支店 作成:令和8年3月

「この地図は、長与町長の承認を得て同町発行の1:2,500長与町基本図を使用し、調製したものである。(承認番号)4長与都発第127号」
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 167-686号」

(禁無断複製)©2026 ZENRIN CO., LTD.